

一茶ゆかりの里四季の俳句会（令和三年四〜六月分）

選者 すみれ会 勝山栄泉 先生

特選 特選なし

入選 青空を映しつつ消ゆしやぼん玉 群馬県 篠原庄治

入選 老農は口を閉ざして百合の花 群馬県 竹淵秋生

入選 凡に生き一日一句老の春 愛媛県 河本坦

入選 濃紫陽花一夜の雨に匂ひ立つ 千葉県 安田蝸牛

入選 ゆっくりと沈む夕日や春惜む 長野市 浦野スミ子

入選 夕立のシャワーを浴びてさあ帰宅 東京都 細村心花

入選 花桃の景引き寄せる水鏡 群馬県 仙田美名代

入選 ワクチンの可否に戸惑い四月尽 宮城県 福田良光